

代表者名	小山田 雍	所管部課名	教育庁保健体育課
所在地	秋田市八橋運動公園1-5	設立年月日	昭和 55年 1月 29日

【沿革及び県の出捐理由】

秋田県における学校保健に関する調査研究及び学校保健思想の普及啓発をはかり、学校保健の向上に寄与するため学校医をはじめとする有志と県が基本財産を拠出し、公益事業の実施団体を設立した。(学校保健の一層の推進)

【出捐者】(24年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	20,000	37.0
市町村	25	1,520	2.8
その他	—	32,568	60.2
計	—	54,088	100.0

【事業】

①主たる業務

- ① 学校保健思想の普及啓発、広報。
- ② 児童生徒の健康の調査研究。
- ③ 学校保健関係者の指導研修、顕彰。
- ④ 研修会、講習会の開催、関係機関との連携。

②事業実績

(回)

事業名等	21年度	22年度	23年度
地域保健・健康推進対策事業	30	37	39

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

平成23年度事業概要 健康推進対策事業(29校における健康教室) 地域保健事業(10地区) 夏期保健事業(3地区)
 平成24年度事業計画 健康推進対策事業は複数の地区で少しでも多くの学校が実施できるように取りはかる。
 支出面で事業費に比べて管理費の占める割合が多くならないように努める。

【組織】

①役員数(H24.7.1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤	14		2	
内、県退職者				
内、県職員	1			
計	14		2	
内、県関係者	1			

②職員数(H24.4.1現在)

(人)

正職員	1	正職員 平均年齢 54歳	正職員 平均勤続年数 13年
内、県退職者			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託		正職員平均年収	千円
内、県退職者			
計	1		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況(23年度)

(千円)

	金額	
経常収入 A	4,440	
受託事業収入	277	
補助金収入	580	
寄付金収入	2,906	
運用益収入	665	
その他	12	
経常支出 B	4,913	
人件費	2,171	
その他	2,742	
経常損益 C = A - B	△ 473	
経常外収入		
経常外支出		
諸税		
当期損益	△ 473	

②財務状況(23年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	1,343	2.3
固定資産	54,088	97.6
資産計	55,431	100.0
流動負債	38	0.1
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	38	0.1
基本金	54,088	97.6
剰余金	1,305	2.3
正味財産計	55,393	99.9
負債・正味財産計	55,431	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中小企業退職金共済制度利用		

【県の財政支出】

(千円)

	21年度	22年度	23年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	277	277	277	健康推進対策事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全 展 全 性	自己資本比率	%	99.91	99.96	99.93	0.05	△ 0.03
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	3,494.00	8,566.67	3,534.21	5,072.67	△ 5,032.46
	経常収入額	千円	4,673	4,603	4,440	△ 70	△ 163
効 率 性	剰余金 (△欠損金)	千円	1,697	1,778	1,305	81	△ 473
	総資本利益率	%	△ 0.10	0.14	△ 0.85	0.24	△ 0.99
	職員1人当たり経常収入	千円	4,673	4,603	4,440	△ 70	△ 163
	人件費比率	%	47.51	46.71	48.90	△ 0.80	2.19

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経 営 改 善 指 標	寄付収入額 (千円)	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	3,129	3,029	2,906	
事 業 成 果 指 標	管理費 (千円)	目標	390	390	390	390
		実績	340	245	342	
事 業 成 果 指 標	学校保健ゼミナール参加者 (人)	目標	250	250	250	250
		実績	225	229	222	
	事業の開催数 (回)	目標	25	27	27	27
		実績	32	40	42	
顧客満足度指数	目標	65	65	85	85	
	実績	86	87	87		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

収入源の賛助金、寄付金は目標額に達することができなかったが、基本財産収入は例年と同じくらいの額を確保できた。前年度の大震災の影響で、理事会・評議員会が年度内に開催できず次年度に持ち越されたことから管理費の旅費が多い支出となっているが、おおよそ予算通りの収支である。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

参加者により満足してもらえるような研修にするために、調査を継続して意見を反映していきたい。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金収入の漸減と大会開催による事業費の増加から、473千円の経常赤字となった。 ・事業規模が縮小しており、収支管理だけでなく、資金管理が不可欠な状況である。 ・法人として、今後の事業運営方針を根本的に見直し、収支改善の目処が立たないようであれば、他法人との統合等も含めた検討が望まれる。 	